

所属名	事務事業名	ページ番号
水産振興課	漁業近代化資金利子補給事業	2
水産振興課	種苗放流推進事業	3
水産振興課	内水面漁業振興事業	4
水産振興課	海岸漂着ごみ緊急対策事業	5
水産振興課	海苔共同加工施設維持管理経費	6
水産振興課	水産多面的機能発揮対策事業	7
水産振興課	塩水対策事業	8
水産振興課	有明海沿岸漁場作濘事業	9
水産振興課	漁港管理経費	10
水産振興課	漁港施設ストックマネジメント事業	11
水産振興課	漁港浚渫事業	12

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	漁業近代化資金利子補給事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	水産振興課 振興係	担当課長名	北村 一豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	06特色ある水産業の振興	
	基本事業	水産業経営環境の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	漁業近代化資金の融資を受ける漁業者等に対し、その利子を補給することで社会資本の整備により生産力の向上や労力の低減等から、漁業経営基盤の近代化を図る。				
事業の対象者	市内の漁業経営者				
令和2年度 主な活動実績	融資機関が漁業者に貸し付けた近代化資金の利子相当額を融資機関に補給した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,625				
うち佐賀市の負担額	5,625				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利子補給を行った件数					件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
454	450	450	450	450	

成果指標②					単位
利子補給を受けた漁業者の中で、経営を維持している者の割合					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
100	100	100	100	100	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
漁業設備の整備・更新の費用は高額であり、定期的かつ継続的に投資が必要であるため、施設整備を行う漁業者に対し利子補給を行うことで負担軽減を図っていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	種苗放流推進事業	事業期間	平成 15 ~ 年度
担当部署・係名	水産振興課 振興係	担当課長名	北村 一豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	06特色ある水産業の振興	
	基本事業	漁場環境の保全	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	有明海域のクルマエビやガザミなどの漁業資源の回復・増大を図るため、有明海沿岸4県並びに漁協が連携して共同放流を行う事業に対する負担金				
事業の対象者	有明海漁業者				
令和2年度 主な活動実績	国・県・関係市町が経費を分担し、クルマエビ・ガザミの共同放流を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,406				
うち佐賀市の負担額	617				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
クルマエビ漁獲量（佐賀県）						kg
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	250	250	250	250		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
漁獲量については、気象条件も含め様々な要因で大きく変わることがあるが、今後も資源回復のため有明海沿岸4県で連携を取りながら放流を続けていく必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

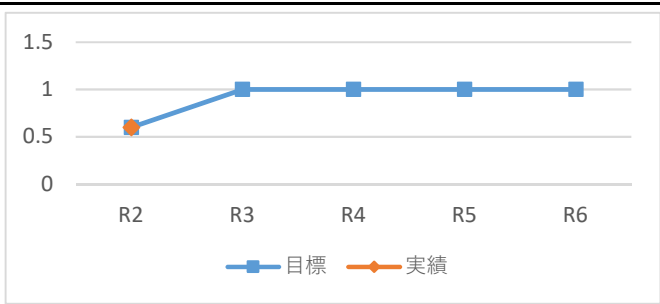
事務事業名	内水面漁業振興事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	水産振興課 振興係	担当課長名	北村 一豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	06特色ある水産業の振興	
	基本事業	水産業経営環境の整備	

1 事務事業の基本情報

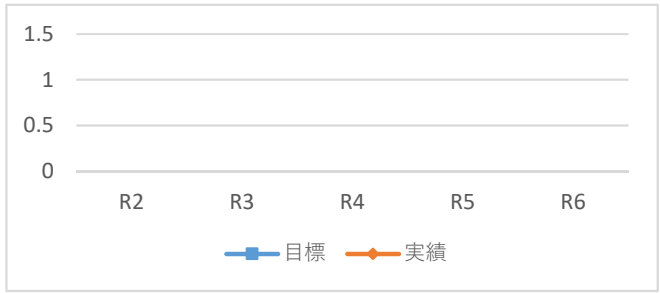
事業概要・目的	稚魚・人工受精卵等の放流を行う漁業組合に対し補助を行うことで、内水面漁業（河川・湖沼などで行う漁業）の振興と漁業経営の安定を図る。				
事業の対象者	内水面漁業者				
令和2年度 主な活動実績	川上川漁協及び有明海漁協が実施する稚魚・人工受精卵等の放流事業に対し助成を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,314				
うち佐賀市の負担額	515				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
エツ漁獲量						t
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0.6	1	1	1	1		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
エツを提供する市内飲食店から、エツ減少に伴い先行きを不安視する声が聞かれるなど、内水面の水産資源が激減しており、資源回復・増大につながるよう、今後も漁協の放流事業への支援を行っていく。

令和3年度 事務事業実績報告シート

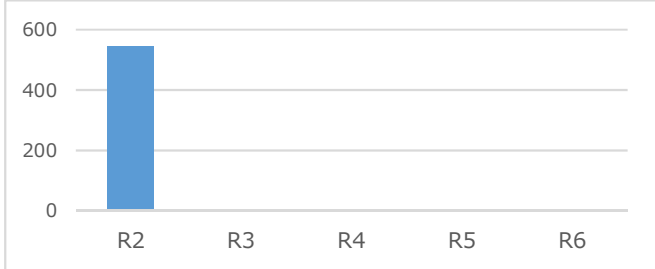
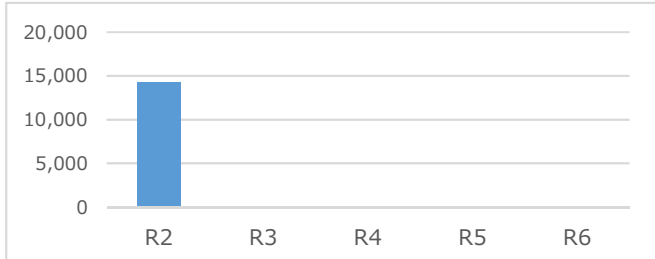
事務事業名	海岸漂着ごみ緊急対策事業	事業期間	平成 19 ~	年度
担当部署・係名	水産振興課 基盤整備係	担当課長名	北村 一豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	06特色ある水産業の振興		
	基本事業	漁場環境の保全		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	豪雨等により漁港区域内に漂着したゴミの撤去や上流から流れ込んだ土砂を除去を早急に行うことで、漁港を利用する漁業者の安全かつ円滑な漁業活動が確保する。				
事業の対象者	漁港を利用する漁業者				
根拠法令等	佐賀県海岸漂着物等地域対策推進事業、佐賀県海岸漂着ごみ緊急対策事業				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	42,930				
うち佐賀市の負担額	19,948				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
漂着ごみの撤去					m ³
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
545.6					
活動実績②					単位
堆積土砂の除去					m ³
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
14,300					

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

豪雨等の影響による突発的な業務であるため、今後も同様の事案が発生したら早急に対応し、漁協活動に支障をきたさないよう対応していく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

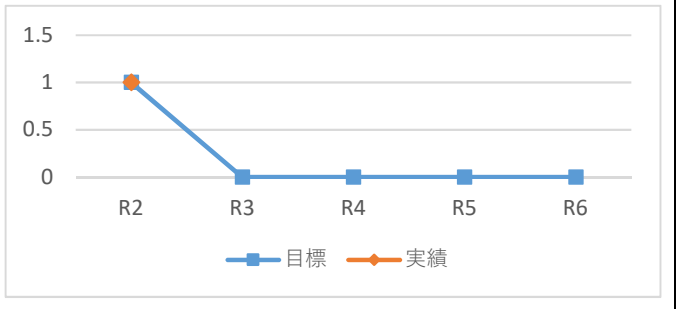
事務事業名	海苔共同加工施設維持管理経費	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	水産振興課 振興係	担当課長名	北村 一豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	06特色ある水産業の振興	
	基本事業	水産業経営環境の整備	

1 事務事業の基本情報

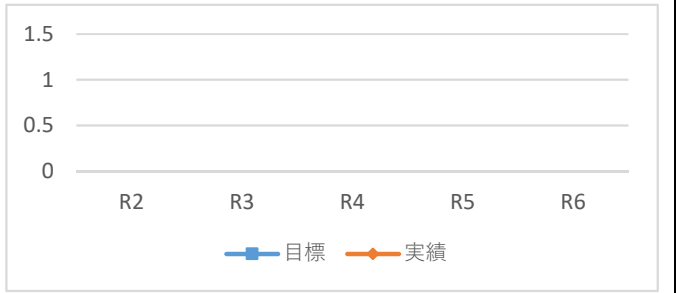
事業概要・目的	り共同加工施設の用地（市有地）の維持補修などの管理を行う。				
事業の対象者	佐賀市支所のり養殖漁家				
令和2年度 主な活動実績	り共同加工施設の維持のための施設内整地等				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	813				
うち佐賀市の 負担額	813				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
り共同加工施設用地利用者からの苦情件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1	0	0	0	0		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
施設を利用する漁業者が使いやすいよう、今後も定期的な整地等の維持管理を行っていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	水産多面的機能発揮対策事業	事業期間	平成 28 ~	年度
担当部署・係名	水産振興課 振興係	担当課長名	北村 一豊	
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち		
	施策	19地球にやさしい低炭素社会の構築		
	基本事業	自然環境保全活動の推進		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	地域協議会が実施する水産多面的機能発揮対策事業に対し助成を行う。				
事業の対象者	地域審議会（活動組織）				
令和2年度 主な活動実績	活動組織が実施した環境・生態系保全活動に対し国・県、市それぞれから支援を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,850				
うち佐賀市の 負担額	278				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活動面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	2	2	2	2		

成果指標②						単位
活動した構成員人数（延べ）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
67	67	67	67	67		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
活動を行うことで海面・海岸域の環境意識の醸成にもつながっており、引き続き支援を行っていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	塩水対策事業	事業期間	平成 5 ~ 年度
担当部署・係名	水産振興課 振興係	担当課長名	北村 一豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	06特色ある水産業の振興	
	基本事業	水産業経営環境の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	㊗加工後に排水される塩分を含んだ㊗加工水が、農作物等へ塩害被害を発生させないように対策を行う。具体的な手段としては、㊗加工水が排水される水路に、土のう等で仮堰を設置することにより、農業用水路への流入を防ぐ。また、塩分を含んだ一部水路においては、ポンプを使用して水の入れ替えを行う。				
事業の対象者	川副地区・東与賀町地区の漁家				
令和2年度主な活動実績	㊗漁期前（11月頃）に川副地区9か所、東与賀地区3か所に水路に土のう等で仮堰を設置。一部にポンプも設置し、漁期終了後（4月頃）に撤去。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,146				
うち佐賀市の負担額	1,820				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
苦情・相談等の対応件数						件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
1	0	0	0	0	0	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
近年、集落から離れた場所（漁港付近）への㊗共同加工場の移転・集約が進む一方、これまでと同様に集落内でも加工が行われており、引き続き塩水対策を実施し、周辺の農作物等への影響がないよう努めていく。

令和3年度 公共事業進捗報告シート

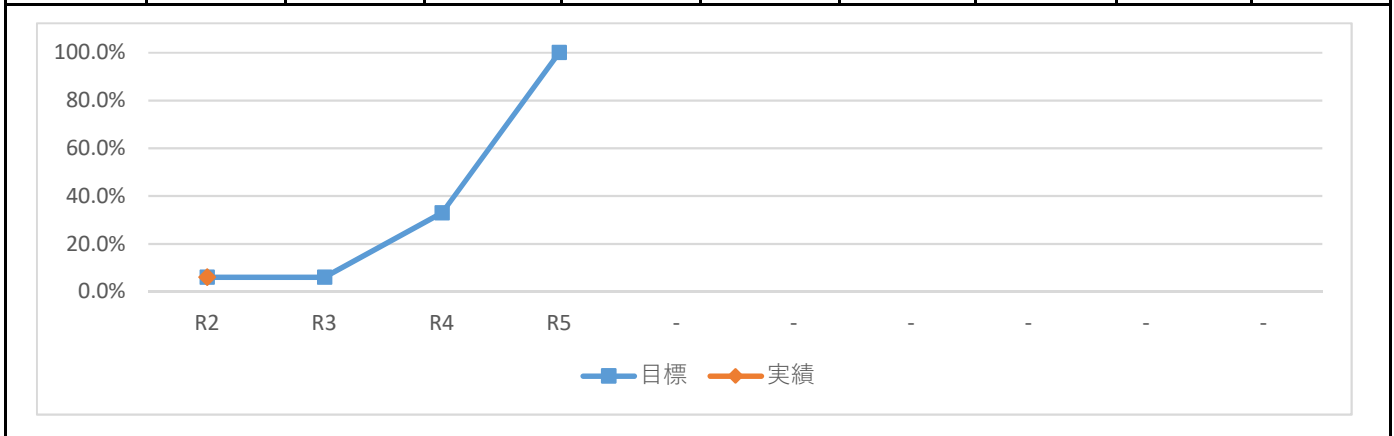
公共事業名	有明海沿岸漁場作滞事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	水産振興課 振興係	担当課長名	北村 一豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	06特色ある水産業の振興	
	基本事業	水産業経営環境の整備	

1 公共事業の基本情報

整備概要	海苔漁場滞筋の浚渫（2か所） ①南側作滞工：計画高 DL= -0.5m、延長 L=1,270m、浚渫土量 V=48,700m ³ ②北側作滞工：計画高 DL= +0.5m、延長 L=2,700m、浚渫土量 V=134,000m ³				
整備の目的	海苔漁場の滞筋の浚渫を行うことで、河川から流れてくる水の流速を改善し、栄養塩を広範囲に行き渡らせる。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	令和2年度	年度	年度	年度	年度
工事請負費					
測量・監理等委託料	25,131				
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計	25,131				
うち佐賀市の負担	6,381				
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					
測量・監理等委託料					25,131
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計					25,131
うち佐賀市の負担					6,381

2 事業の進捗率

R2	目標 実績	R3	目標 実績	R4	目標 実績	R5	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	6.0% 6.0%		6.0%		33.0%		100.0%					



令和3年度 事務事業進捗報告シート

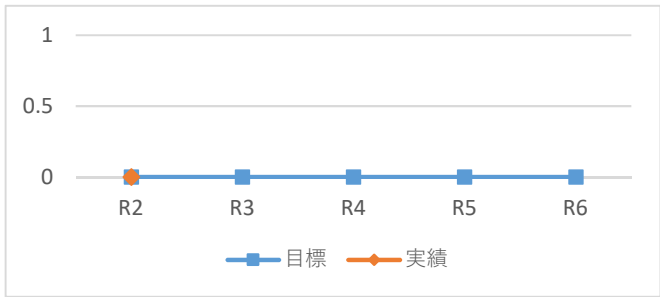
事務事業名	漁港管理経費	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	水産振興課 基盤整備係	担当課長名	北村 一豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	06特色ある水産業の振興	
	基本事業	水産業経営環境の整備	

1 事務事業の基本情報

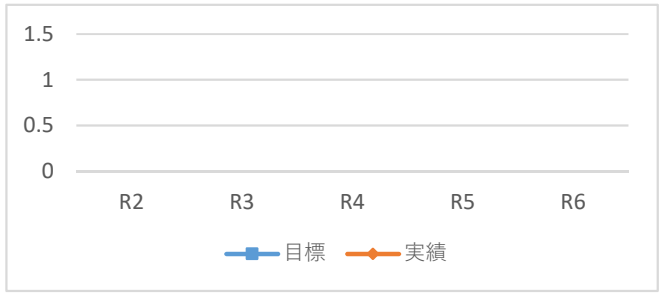
事業概要・目的	佐賀市が管理している7漁港において、損傷や機能の低下により、管理上必要な修繕や補修工事を行うことで、漁業者が安全かつ円滑に漁業活動に取り組めるよう漁港の管理を行う。				
事業の対象者	漁港を利用する漁業者				
令和2年度 主な活動実績	漁港管理者として漁港施設の修繕、補修工事等を行った。 ・修繕 14件 ・補修工事 9件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	13,096				
うち佐賀市の負担額	5,935				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
苦情対応件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	0	0	0	0		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
漁業者が安心、安全に漁業活動に取り組めるよう定期的な漁港の点検を行い、破損や老朽化の把握に努める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	漁港施設ストックマネジメント事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	水産振興課 基盤整備係	担当課長名	北村 一豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	06特色ある水産業の振興	
	基本事業	水産業経営環境の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市が管理している7漁港において、浚渫工事や栈橋等の補修工事を行うことで、漁業者が安全かつ円滑に漁業活動に取り組めるよう漁港の管理を行う。				
事業の対象者	漁港を利用する漁業者				
令和2年度 主な活動実績	5漁港で浚渫工事、2漁港で栈橋及び橋梁の補修工事を行った。 ・浚渫工事 戸ヶ里漁港（戸ヶ里地区、早津江地区、三軒屋地区）、寺井津漁港、広江漁港 ・補修工事 戸ヶ里漁港（戸ヶ里地区）7号栈橋、朝日橋、広江漁港 16号栈橋				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	172,785				
うち佐賀市の負担額	55,048				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
泊地及び航路の浚渫箇所数（累計）						箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5	11	15	21	25		

成果指標②						単位
栈橋及び橋梁の補修箇所数（累計）						箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	4	5	6	7		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
漁業者が安心、安全に漁業活動に取り組めるよう計画に沿って浚渫を行いました、定期的な漁港の点検を行い、破損や老朽化の状況把握に努める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	漁港浚渫事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	水産振興課 基盤整備係	担当課長名	北村 一豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	06特色ある水産業の振興	
	基本事業	水産業経営環境の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市が管理している7漁港において、管理上必要な工事を行うことで、漁業者が安全かつ円滑に漁業活動に取り組めるよう漁港の管理を行う。				
事業の対象者	漁港を利用する漁業者				
令和2年度 主な活動実績	3漁港で舗装工事や照明灯灯具工事等を行い、漁港の適正な管理を行った。 ・舗装工事 広江漁港（東与賀側） ・照明灯灯具交換工事 戸ヶ里漁港（戸ヶ里地区） ・防眩材等設置工事 戸ヶ里漁港（大詫間地区）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	25,319				
うち佐賀市の負担額	16,830				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
工事を行う漁港数（累計）						箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	5	8	10	13		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
漁業者が安心、安全に漁業活動に取り組めるよう定期的な漁港の点検を行い、破損や老朽化の把握に努め、補修等が必要な現場は早急に対応していく。